

# 市街地の安全確保のため堤防整備の推進 ～庄川弱小堤対策を推進～

いみず  
富山県射水市

## 1. 事業の概要

庄川の左岸高岡市能町地区・射水市庄西地区の堤防は、高さ及び天端幅が不足し、洪水を安全に流すことのできない弱小堤となっています。背後地には住宅及び工場が密集しており、治水安全度の向上が急務となっています。

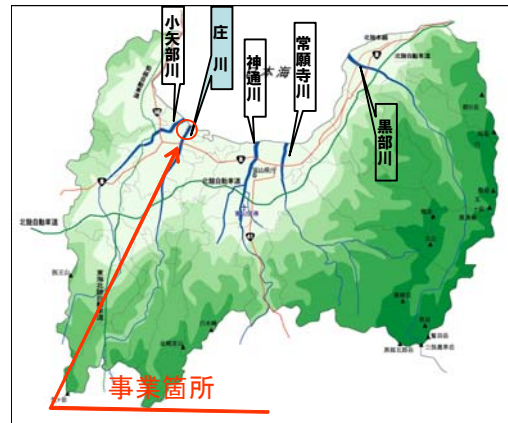
そのため、洪水を安全に流すことを目的に、堤防の完成断面化を進める弱小堤対策を計画的に実施しています。

## 2. 事業の経緯

堤防断面の不足する河口部左岸 4.1km の区間について、平成元年から順次築堤整備を実施しています。平成 17 年度までに約 2.7km が完成しています。

## 3. 平成 18 年度補正予算の内容

射水市庄西地先の築堤整備を促進し、早期完成に向けて事業を推進します。



# 兎谷砂防えん堤群の整備推進

## 富山県富山市（旧大山町）

### 1. 事業の概要

#### 1) 目的

不安定土砂が残存している立山カルデラ内の常願寺川右支川湯川左支川兎谷は平均河床勾配 1/2.8 の流域全体が荒廃した急流河川であり、上流には未だに巨礫を含む多量の土砂が堆積していることから、土石流が発生した場合、立山カルデラの基幹えん堤である白岩砂防えん堤（登録有形文化財）に被害を及ぼすことから、不安定土砂の安定化対策として整備を推進しています。

また、平成 18 年 7 月 16 日から 19 日の豪雨により、施工中の兎谷砂防えん堤直下の河床が著しく不安定化したことから、その対策として床固工群の進捗を図ります。

#### 2) 全体計画

- 兎谷第 1 号砂防えん堤（副えん堤 8 基） ダム高：14.5m 堤長：296.0m
- 床固工：3 基 第 1 号床固 ダム高：7.0m 堤長：44.0m  
第 2 号床固 ダム高：5.5m 堤長：38.0m  
第 3 号床固 ダム高：7.5m 堤長：75.0m
- 護岸工：1,843m<sup>3</sup>
- 護床工：1,469m<sup>3</sup>
- 計画流量：Q=129m<sup>3</sup>/s

### 2. 事業の経緯

- 昭和 62 年度 兎谷砂防えん堤群 調査及び設計
- 昭和 63 年度 水理模型実験による配置計画検討
- 昭和 63 年度 兎谷砂防えん堤群 着手
- 平成 5 年度 兎谷第 1 号砂防えん堤 実施設計
- 平成 17 年度 6 月 29 日からの前線性豪雨により、えん堤群直下の河床低下

### 3. 平成 18 年度補正予算の内容

第 1 号床固を早急に着手し、床固工群の進捗を図り、兎谷砂防えん堤群直下の河床の不安定化を防止します。また、兎谷上流に堆積している大量な土砂の流出を軽減します。



対策箇所

兎谷砂防えん堤群直下の河床低下  
(平成 18 年 7 月末撮影)



# ななおひみ 一般国道470号七尾氷見道路事業推進 石川県七尾市～富山県氷見市

## 1. 事業の概要

能越自動車道は、石川県輪島市から富山県砺波市に至る延長約100kmの高規格幹線道路の一般国道自動車専用道路です。

七尾氷見道路は能越自動車道の一部を構成し、石川県七尾市八幡（七尾 IC）から富山県氷見市大野（氷見 IC）に至る延長約28.1kmの道路です。

平成8年度に事業着手し、両県において平成13年度に用地買収・富山県内において、平成15年度に工事着手しています。

平成18年度は石川・富山両区間において用地買収・埋蔵文化財発掘調査を推進するとともに、改良工事、橋梁工事を推進し、石川県側において工事用道路に着手しています。

## 2. 事業の経緯

- 平成 8年度 事業着手
- 平成13年度 用地買収（富山県・石川県）
- 平成15年度 工事着手（富山県）

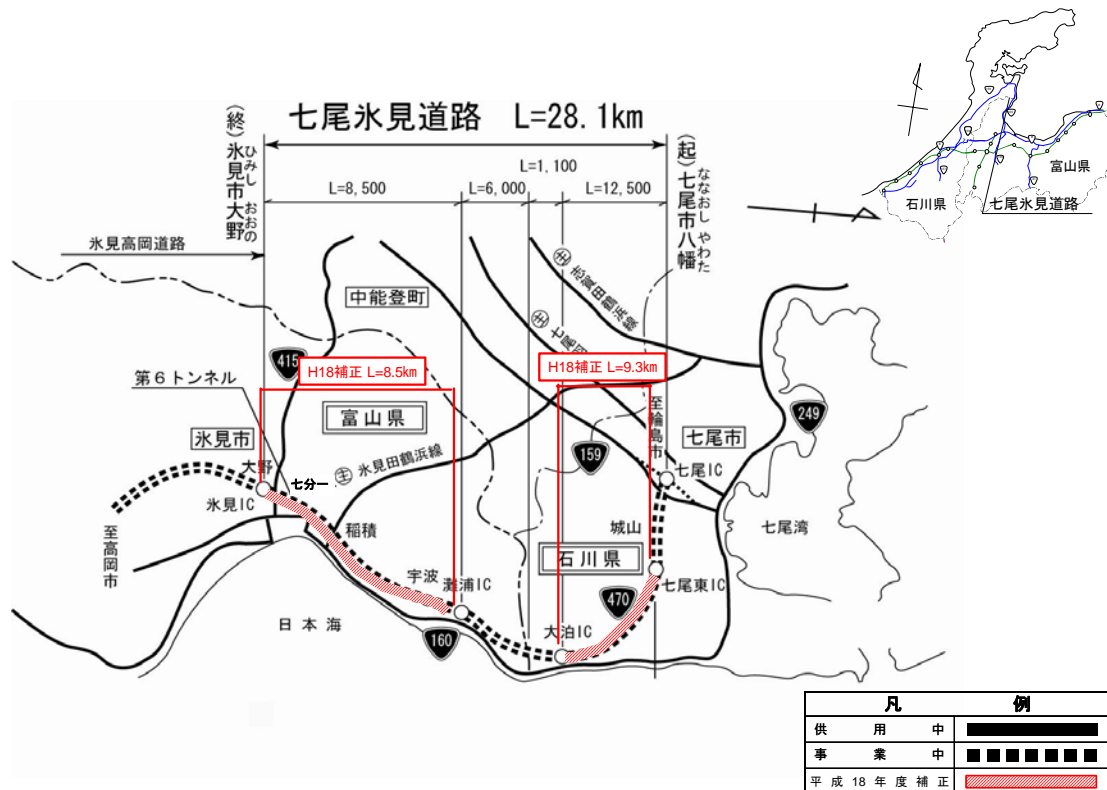
## 3. 平成18年度補正予算の内容

【富山県側】（ゼロ国）

大野地区の改良工事を円滑に推進し、早期の供用を目指します。

【石川県側】

八幡川橋下部工事他、構造物工事の推進により、災害時の緊急輸送路として円滑な通行が可能となります。





# 一般国道8号 八町跨道橋橋梁補修事業

## 富山県富山市

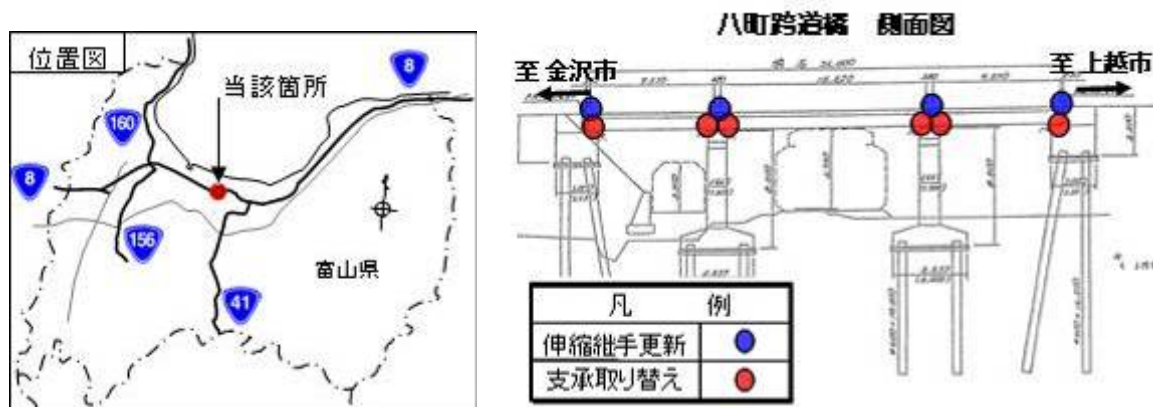
### 1. 事業の概要

一般国道8号は、新潟県新潟市を起点とし、日本海側の中核都市を連絡し、京都府京都市に至る延長約570kmの日本海側唯一の主要幹線路線であり、富山県が策定した「緊急輸送道路ネットワーク計画」に、第一次緊急輸送道路として位置づけられています。

八町跨道橋は、日交通量約4万7千台に及ぶ大動脈であり、橋梁損傷による交通障害が発生した場合、緊急輸送路の分断が予想されるとともに、地域の社会・経済活動に大きな支障をきたす恐れがあるため、早急に橋梁の補修を行い安全で安心な道路整備を推進します。

### 2. 平成18年度補正予算の内容

平成18年度に実施した橋梁定期点検において損傷が確認された支承等の補修工事を円滑に推進し、安全で安心な道路整備を推進します。



# 一般国道41号 荒川電線共同溝

## 富山県富山市

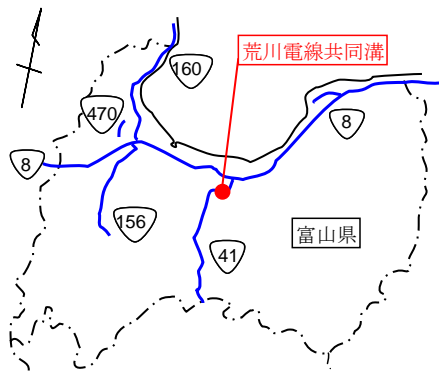
### 1. 事業の概要

一般国道41号は、名古屋市を起点とし、富山市に至る延長約254kmの主要幹線道路です。

事業箇所は富山市の中心市街地に位置し、沿道には沿道型店舗が多く連立しており、電線共同溝を整備することにより、都市景観の向上及び都市災害の防止を図るものです。さらに、無電柱化との同時整備により歩道のバリアフリー化を進め、誰もが安全で快適に通行できる歩行空間を確保する事業です。

### 2. 平成18年度補正予算（ゼロ国）の内容

田中町交差点～荒川東部交差点間の上り線延長L=760mの工事に着手し、安全で快適な歩行空間の整備を推進します。



<一般国道号 田中町から荒川方面を望む>





# 臨港道路(富山新港東西線)の整備推進

～新湊大橋(仮称)～

伏木富山港：富山県射水市

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

伏木富山港(新湊地区)は、平成14年4月に多目的国際ターミナルが供用されるなど、環日本海交流の要として重要な役割を担っています。臨港道路(富山新港東西線)は、広域幹線道路と連結することによって、港湾関連貨物の物流の円滑化および効率化を図るとともに、港湾利用者の利便性を向上させることを目的としています。

### 2) 諸元

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| ○計画延長：約3,600m      | ○車線数：2車線(3.5m×2車線) |
| ○主橋梁部形式：5径間連続複合斜張橋 | ○桁下空間：最高水面+4.7m    |
| ○設計速度：50km/h       | ○最急縦断勾配：4.0%以下     |

## 2. 事業の経緯

平成9年度より各種調査を実施し、経済性、利便性および技術的課題についての検討を行い、平成14年度に現地着手しています。

## 3. 平成18年度補正予算(ゼロ国)の内容

補正予算を投入し、西アプローチ部橋脚上部工を円滑に推進します。



臨港道路(富山新港東西線) イメージパース

# 中心商業地の活性化

## ～市街地再開発事業 <sup>そうがわとお</sup> 総曲輪通り <sup>みなみ</sup> 南地区～ (富山県富山市)

### 1. 事業の概要

富山市中心街に位置する総曲輪商店街は、来街者が集い憩う施設が無いこと、空店舗の増加、消費者が求めている高付加価値を備えた大型商業施設の欠如等の理由により消費者の魅力、中心商業地としての集客力が大きく低下してきています。

本再開発事業の実施により高度な商業集積機能をもった商業施設の整備を行い、西町・総曲輪地区市街地再開発事業、グランドプラザ整備事業と併せて富山市中心市街地の文化交流機能を強化し、中心商業地の活性化を促進します。

〈事業計画〉

施行者 : <sup>そうがわとお</sup> 総曲輪通り <sup>みなみ</sup> 南地区市街地再開発組合  
整備内容 : 延べ面積約 44,200 m<sup>2</sup>、主な用途 (商業)

### 2. 事業の経緯

平成 4 年度	再開発準備組合設立
平成 13 年度	都市計画決定告示
平成 16 年度	組合設立 (事業計画決定)
平成 17 年度	権利変換計画認可、施設建築物工事着手

### 3. 平成 18 年度補正予算 (ゼロ国) の内容

補正予算の投入により施設建築物工事を円滑に促進し、平成 19 年度の供用を目指します。

【商業施設の完成予想図】



【グランドプラザの完成予想図】



# 別当谷砂防えん堤群の整備推進

## 石川県白山市白峰

### 1. 事業の概要

別当谷砂防えん堤群は、土石流捕捉と溪岸浸食の防止、河床の安定を目的にえん堤を階段状に実施しています。

平成16年5月17日には、前線通過に伴う大雨と融雪により大規模な土石流が発生し、砂防えん堤に大きな被害が生じました。また平成18年9月には別当谷上流において山腹崩壊が発生し、溪流に不安定土砂が堆積している状況にあり、土石流や落石の危険性が大きいことから、補正予算により先端技術である完全無人化工法によるえん堤の補強を行い、対策を完成させます。

### 2. 事業の経緯

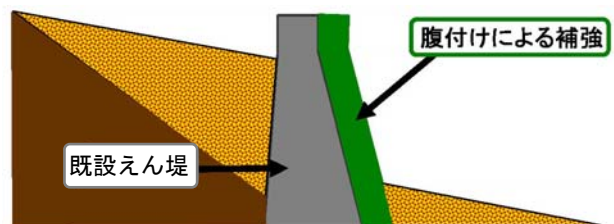
- 昭和12年8月から  
平成6年10月まで 別当谷第1号から第34号砂防えん堤完成
- 平成16年5月 別当谷土石流発生
- 平成17年12月 別当谷被災えん堤災害復旧着手
- 平成18年9月 別当谷上流で山腹崩壊
- 平成18年12月 別当谷被災えん堤災害復旧完了

### 3. 平成18年度補正予算の内容

土石流や斜面崩壊により不安定土砂が堆積している別当谷の砂防えん堤（別当谷8号、15号、19号えん堤）の補強対策を完成させます。



別当谷第15号えん堤（平成18年10月撮影）



対策工イメージ図



# 直轄石川海岸（小松工区）の事業推進

～安全で快適な海岸の保全と創出～

石川海岸（石川県小松市）

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

小松海岸、片山津海岸は石川県の小松市、加賀市にわたる海岸で、侵食が著しく、毎年のように護岸等の被災を受けています。

そのため、小松海岸、片山津海岸を平成16年6月に直轄石川海岸の区間として延伸、平成16年度より直轄工事に着手し、抜本的な侵食対策を行っています。

### 2) 全体計画（小松工区）

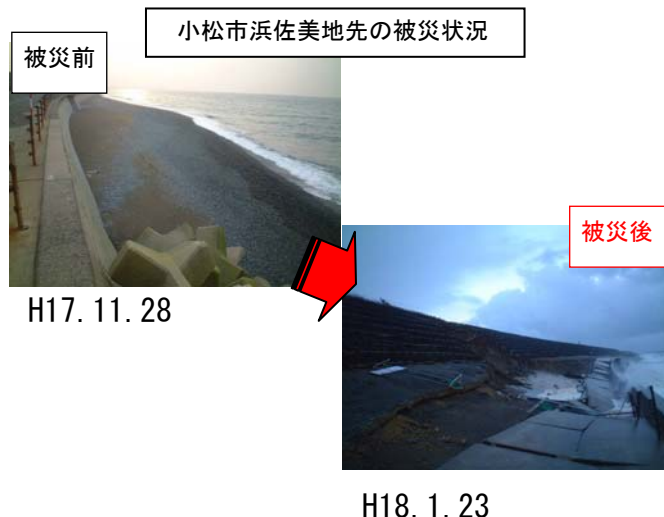
人工リーフ15基、養浜475,000m<sup>3</sup>

## 2. 事業の経緯

平成16年度より直轄による海岸保全施設整備に着手し、小松工区において2基目の人工リーフに着手しています。

## 3. 平成18年度補正の内容

平成18年1月、平成18年12月に相次いで冬期風浪時に直立堤倒壊等の災害が発生しています。今後、同様の災害が生ずる危険性がある箇所において、波力低減のための消波工の整備を実施し、背後地の安全確保を図ります。



しんぼりがわ いぶりばしがわ  
**新堀川・動橋川ハザードマップ調査の促進**  
 石川県加賀市

**1. 事業の概要**

新堀川水系では、平成10年9月22日の台風7号により支川の動橋川で破堤し、床上浸水31戸、床下浸水102戸の甚大な被害が発生したほか、平成16年10月20日の台風23号および平成18年7月17日の梅雨前線豪雨では、柴山潟が越水し、周辺の片山津温泉街を中心に床上・床下浸水が発生したことから、早期に浸水被害を解消することが急務となっています。

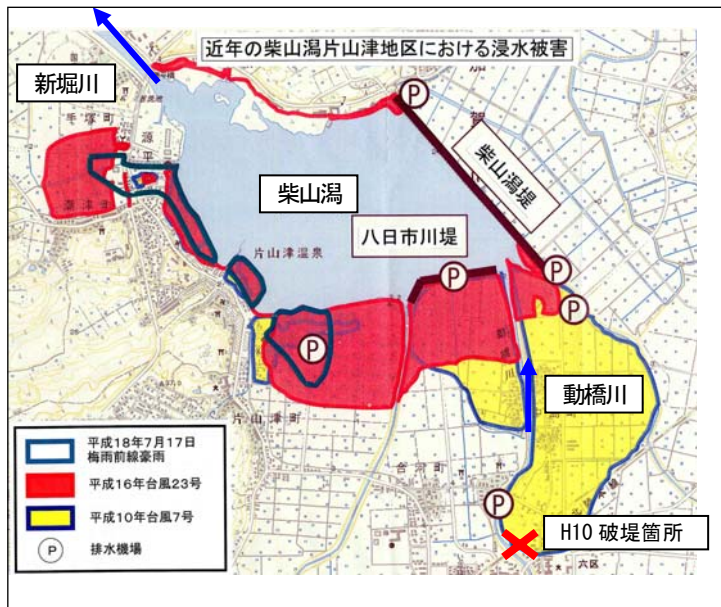
動橋川については、現在、広域基幹河川改修事業により整備を進めていますが、柴山潟南西部の片山津温泉街は一部無堤となっており、早期の改修と合わせて被害軽減のためのソフト対策である洪水ハザードマップを作成する必要があります。今回の補正予算投入により、平成19年出水期までに洪水ハザードマップの公表が可能となります。

**2. 事業の経緯**

- 平成元～平成9年度 局部改良事業（動橋川）
- 平成10年度～ 広域基幹河川改修事業（動橋川）

**3. 平成18年度補正予算の内容**

出水時の被害軽減のための洪水ハザードマップ作成に向けた調査を実施します。



平成18年7月 片山津温泉街の浸水状況



平成10年9月 動橋川破堤状況

# つばたきた 一般国道8号津幡北バイパス事業推進 かほく 石川県河北郡津幡町

## 1. 事業の概要

津幡北バイパスは、一般国道8号の津幡町<sup>つばたまち</sup>市内の交通混雑の緩和を目的とした延長約5.8kmの道路です。

昭和59年度に事業着手し、昭和61年度に用地着手、平成3年度に工事着手しており、平成10年度に津幡町倉見<sup>くらみ</sup>から同町庄間<sup>しやうま</sup>の延長約1.7km、平成17年度に津幡町加茂<sup>かほ</sup>から同町舟橋<sup>ふなばし</sup>間の延長約0.5kmについて暫定2車線供用しています。

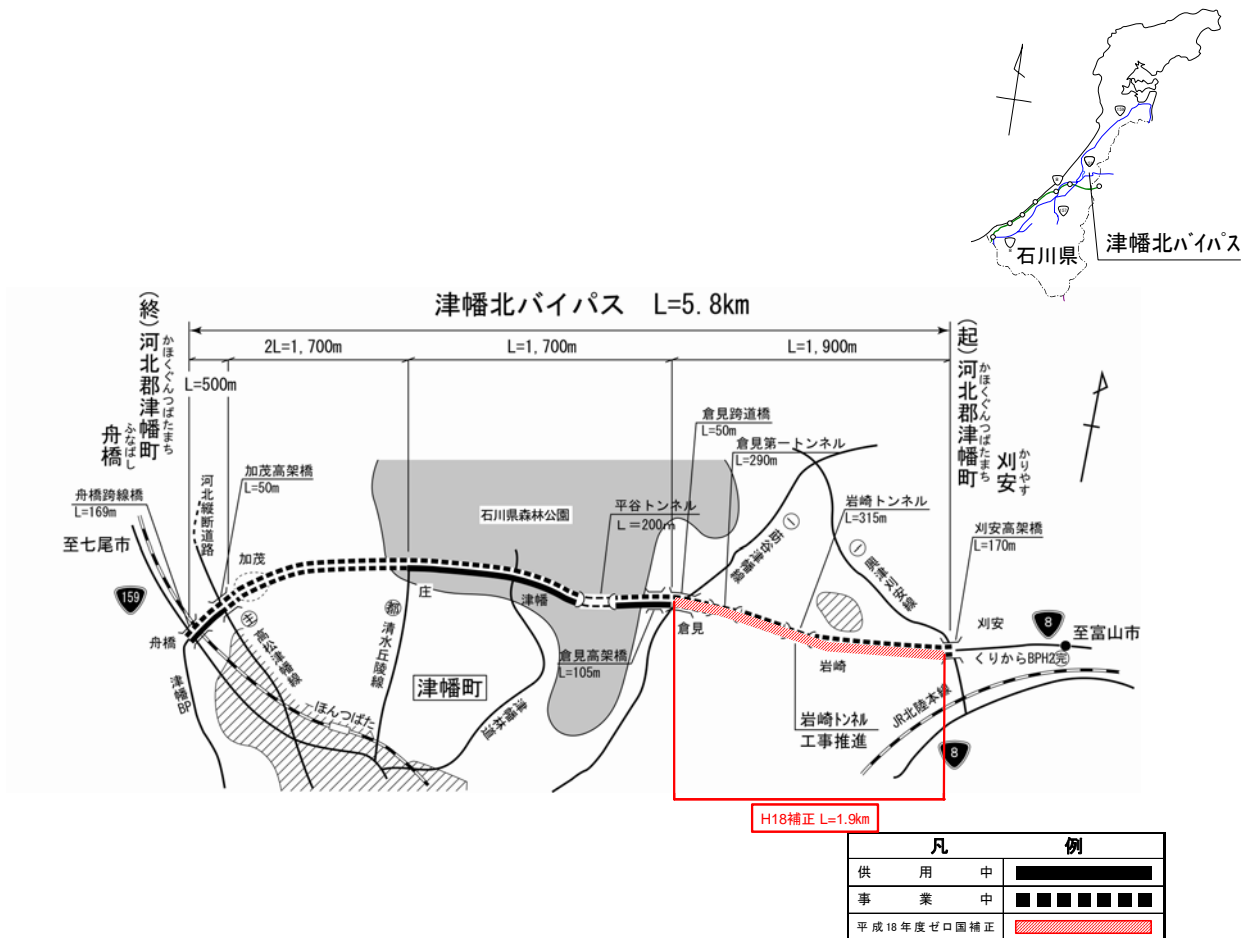
平成18年度は、津幡町庄間から同町加茂間の延長約1.7kmの改良・橋梁・舗装工事を推進し、暫定2車線で部分供用する予定です。

## 2. 事業の経緯

- 昭和59年度 事業着手
- 平成10年度 津幡町倉見～同町庄間 約1.7km 暫定2車線供用
- 平成17年度 津幡町加茂～同町舟橋間 約0.5km 暫定2車線供用

## 3. 平成18年度補正予算（ゼロ国）の内容

平成19年度の全線供用に向けて、津幡町刈安<sup>かりやす</sup>地区の工事を推進し、早期のバイパス供用を行うことにより、金沢都市圏と富山県及び能登地域の広域的なネットワークの強化を目指します。





# 多目的国際ターミナル整備事業の推進

かなざわこう かなざわ  
金沢港：石川県金沢市

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

金沢港は、北陸地方の政治・経済の中心都市の一つである金沢市及び産業都市小松市をはじめとする石川県の物流拠点として、市民生活・産業活動に重要な役割を担っています。

現在、金沢港には水深-10m までの施設しかなく、大型船が入港できないため、他港から2次輸送を行うなど、非効率な輸送を余儀なくされている状況にあります。

このため、物流コストを削減し、効率的な輸送・荷役作業を行い、地域産業の国際競争力の向上を図るため、船舶の大型化に対応した多目的国際ターミナル整備を行います。

### 2) 全体計画

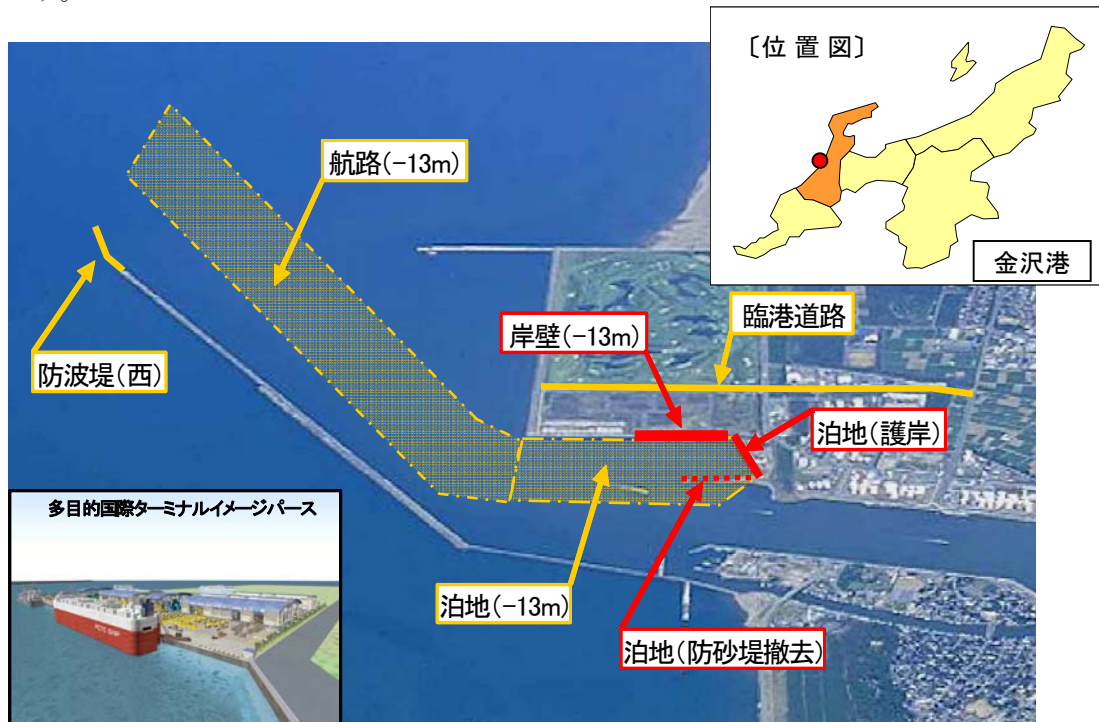
- ・事業内容：岸壁(-13m)、航路・泊地(-13m)等
- ・整備期間：平成18年度～平成27年度

## 2. 事業の経緯

平成18年度より大野地区において、建設機械や穀物等を取り扱う多目的国際ターミナル整備事業を実施しています。

## 3. 平成18年度補正予算（ゼロ国）の内容

補正予算を投入し、岸壁(-13m)、泊地(防砂堤撤去)、泊地(護岸)整備を円滑に推進します。



金沢港（大野地区）多目的国際ターミナル計画位置図

# かほく市公共下水道の整備促進

## 石川県かほく市

### 1. 概要

#### 1) 目的

かほく市の公共下水道は、平成16年3月の市町村合併により、旧市町村単位での、たかまつ高松・うのけなつか宇ノ気七塚処理区で実施しています。新市では、豊かな自然の中に都市的な利便性を合わせ持つ、安心して快適な都市を目指して、今後も各処理区において、公共下水道の整備を促進します。

#### 2) 計画内容

事業主体：かほく市

事業内容：公共下水道事業

事業全体計画：A=1,518ha、L=30.6km

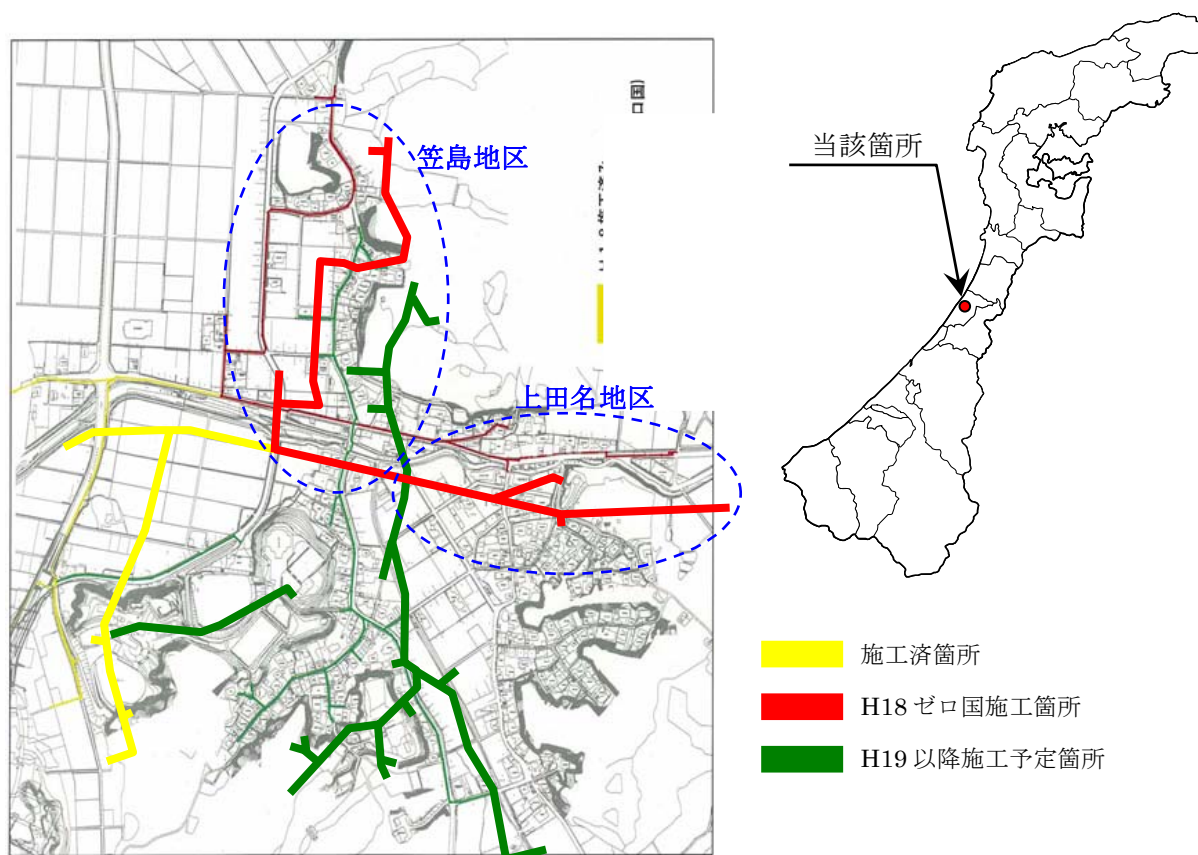
### 2. 事業の経緯

事業着手年度：昭和56年度

### 3. 平成18年度補正予算（ゼロ国）の内容

補正予算の投入により、かさしま笠島地区、うわだな上田名地区の平成19年度降雪期前の一部供用開始を円滑に促進します。

下水道管渠新設工事（φ200mm L=1,492m）



# 金沢広坂合同庁舎 耐震改修事業の実施

## 石川県金沢市

### 1. 事業の概要

本庁舎には、北陸農政局、北陸総合通信局が入居し、災害応急対策活動に必要な主な官庁施設となっていることから、耐震診断結果等を踏まえ、耐震改修事業を実施します。

### 2. 平成18年度補正予算の内容

金沢広坂合同庁舎（構造：RC—8—1 延床面積：約17,000㎡）について、免震工法等による耐震改修を実施します。



金沢広坂合同庁舎